〒901-0143 沖縄県那覇市安次嶺531-3 那覇空港統合庁舎内
(代表)TEL098-857-3192 平日08時30分～17時15分

METARとTAF

METARとTAFの解説

METAR ROAH 080130Z 34008KT 8000 -RA FEW020 BKN120 25/21 Q1020 RMK 2CU020 6AC120 A3014

ROAH	080130Z	34008KT	8000	-RA	FEW020	BKN120
地点略号	観測日時 (UTC)	風向・風速 (度・kt)	卓越視程 (m)	現在天気	雲量・雲低の高さ (8分量・ft)	
25/21	Q1020	RMK		2CU020	6AC120	A3014
気温/露点 (℃)	気圧:QNH (hPa)	指示符 (国内記事の始まりを示す)		雲量・雲形・雲低の高さ (8分量・ft)		気圧:QNH (inHg)

TAF ROAH 252305Z 2600/2706 25010KT 9999 FEW015 SCT030 BKN045 TEMPO 2609/2615 SHRA

以上

ROAH	252305Z	2600/2706	25010KT	9999	FEW015	SCT030	BKN045
地点略号	発表日時 (UTC)	予報期間	風向・風速 (度・kt)	卓越視程 (m)	雲量・雲形・雲低の高さ (8分量・ft)		
TEMPO 2609/2615		SHRA					
26日の09Zから26日15Z までの間時々		しゅう雨					

（注）1kt = 約0.5m/s　　1000ft = 約300m　　Z＝協定世界時（UTC）

METAR、TAFの読み方

地点略号

飛行場はICAOの国際4文字地点略号で表します。那覇空港はROAHです。

観測及び発表日時

METARの観測日時やTAFの発表日時は、協定世界時（UTC）で表します。
協定世界時の時刻に+9時間すると日本時間になります。
【例】080130Z　　協定世界時の8日1時30分（日本時間の8日10時30分）

風向風速

風向を3桁、風速を2桁で表します（風速100kt以上はP99）。
【例】35015KT　　風向350度で風速15kt

平均風速を10ノット以上上回る瞬間風速があった場合は、平均風速の後にGをつけて表します。
【例】08015G25KT　　風向80度で風速15kt、瞬間風速25kt

風向が定まらない場合はVRB、静穏の場合は00000で表します。
【例】VRB02KT　　風向が定まらず風速02kt

卓越視程

全方位(360度)の半円(180度)以上の範囲に共通した最大水平視程をいいます。
卓越視程は4桁で表します。

10km以上	9999
5000mを超え10km未満	1000メートル単位で4桁
5000m未満	100メートル単位で4桁

現在天気の強度・周辺現象

那覇航空測候所

〒901-0143
沖縄県那覇市安次嶺531-3
那覇空港統合庁舎内

平日　08時30分～17時15分
（代表）TEL 098-857-3192

−	弱（light）
（記号無し）	並（moderate）
+	強（heavy）
VC	飛行場周辺（概ね8～16kmの区域）の現象

特性

MI	地	FGと組み合わせで使用されます。
BC	散在	
PR	部分	
DR	低い	DU、SA、SNが風で2m未満の高さに吹き上げられている場合に使用されます。
BL	高い	DU、SA、SNが風で2m以上の高さに吹き上げられている場合に使用されます。
SH	しゅう雨性	RA、SN、GS、GRと組み合わせで使用されます。
TS	雷電	飛行場に雷電があり、かつ降水現象（RA、GR等）がある場合に組み合わせて使用されます。降水現象を伴わない場合はTSのみです。
FZ	着氷性	FG、DZ、RAと組み合わせで使用されます。

降水現象

DZ	霧雨	BR	もや
RA	雨	FG	霧
SN	雪	HZ	煙霧（ちり煙霧）
SG	霧雪	DU	じん
IG	氷晶	SA	砂
PL	凍雨	VA	火山灰
GR	雹	FU	煙
GS	雪あられ、氷あられ		

視程障害現象

雲量と雲底の高さ

雲量は8分量で表し、飛行場標高からの雲底の高さを100ft単位で3桁の数字で表します。
【例】SCT030　　雲量3/8～4/8、雲低の高さ3000ft

SKC	0(雲がない)
FEW	1/8～2/8
SCT	3/8～4/8
BKN	5/8～7/8
OVC	8/8
///(不明)	雲量を推定できない

雲形

雲形は10の類にわけて観測し、記号で表します。ただし、上層雲（CI、CC、CS）は雲量以外観測しません。
【例】3CU030　　雲量3/8、雲形は積雲、雲低の高さ3000ft

記号	雲形	記号	雲形
CI	巻雲	SC	層積雲
CC	巻積雲	ST	層雲
CS	巻層雲	CU	積雲（TCU 搭状積雲）
AC	高積雲	CB	積乱雲

AS	高層雲	///(不明)	暗夜、霧等により雲が見えない
NS	乱層雲		

気温・露点温度

摂氏による気温/摂氏による露点温度(0℃未満はMを前置する)
【例】25/18　　気温25℃、露点温度18℃

高度計規正値（QNH）

Qを前置してhPa値、Aを前置してinHg値（0.01インチ単位）を4桁の数字で表します。
【例】Q1021　　1021hPa
【例】A3016　　30.16inHg

国内記事

国内記事の始まりは指示符RMKで示し、以下のような内容を表します。
・雲の情報（雲量、雲形、雲低の高さ）
・inHg（水銀柱のインチ）で表した気圧（QNH）
・方向視程（卓越視程で表現されない方向の水平視程）
・航空機から報告された現象（操縦士報告）
・視界内の現象（雷電、積乱雲、搭状積雲などの存在位置及び移動方向）
・気圧の上昇又は下降
など

※詳しいMETAR、TAFの読み方については、気象庁HPの「気象通報式」をご覧ください。

copyright©2017 Naha Aviation Weather Station all rights reserved.